

地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」について

1. 放課後児童クラブ	修正なし	P1
2. 時間外保育事業	修正あり	P2
3. 一時預かり事業		
3-1. 幼稚園預かり保育(1号認定子どもによる不定期の利用)	修正なし	P3
3-2. 幼稚園預かり保育(2号認定子どもによる定期的な利用)	修正なし	P4
3-3. 一時預かり(幼稚園預かり保育以外)	修正あり	P5
3-4. 一時預かり(特定保育相当分)	修正あり	P6
4. ファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援事業)	修正あり	P7
5. 病児保育事業	修正あり	P8
6. 地域子育て支援拠点事業	修正なし	P9
7. 利用者支援事業		
7-1. 子育て支援コンシェルジュ	修正なし	P10
7-2. 母子健康包括支援センター	修正あり	P11
8. 子育て短期支援事業		
8-1. ショートステイ	修正なし	P12
8-2. トワイライトステイ	修正なし	P12
9. 乳児家庭全戸訪問事業	修正なし	P13
10. 養育支援訪問事業	修正なし	P14
11. 妊婦健康診査	修正なし	P15

令和元年10月30日
千葉県こども未来局

1. 放課後児童クラブ

事業の概要	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業		
本市事業名	子どもルーム	提供区域	行政区
対象者	小学校に就学している児童		
算出方法	根拠	独自に算出	ニーズ調査
	<p>①1年生の利用数は、教育委員会企画課の児童推計に各年度ごとの利用見込率を掛けて算出</p> <p>②各年度の利用見込み率は、平成31年度の各区の1年生利用率に、前3年分の平均伸び率を足し算出 例)中央区の場合 R2年度:47.2%(+2.0%)、R3年度:49.1%(+2.0%)、R4年度:51.6%(+2.5%)、 R5年度:53.7%(+2.1%)、R6年度:55.9%(+2.2%)</p> <p>③2～6年生の利用児童数については、区ごとに過去3年の継続利用率の平均を用いて算出 例)中央区の場合 1→2年生:96.1%、2→3年生:81.8%、3→4年生:61.4%、4→5年生:45.6%、5→6年生:30.9%</p> <p>④R3年度以降の一体型実施予定校については、未定なため含めて算出</p>		

(利用者数:人)

		過年度実績			量の見込み				
		28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
低学年	中央区	1,496	1,605	1,712	1,731	1,826	1,926	2,023	2,119
	花見川区	1,199	1,243	1,372	1,415	1,523	1,645	1,724	1,822
	稲毛区	1,252	1,357	1,473	1,380	1,423	1,487	1,530	1,567
	若葉区	841	857	931	1,110	1,199	1,271	1,333	1,395
	緑区	1,186	1,352	1,370	1,386	1,438	1,465	1,472	1,478
	美浜区	1,453	1,424	1,457	1,538	1,637	1,748	1,880	1,935
	全市	7,427	7,838	8,315	8,560	9,046	9,542	9,962	10,316
高学年	中央区	313	400	421	451	455	470	495	522
	花見川区	235	242	298	322	339	353	391	417
	稲毛区	216	241	377	341	358	350	369	385
	若葉区	111	159	215	239	255	282	304	323
	緑区	212	237	362	353	333	357	370	374
	美浜区	282	365	452	428	435	446	456	507
	全市	1,369	1,644	2,125	2,134	2,175	2,258	2,385	2,528

2. 時間外保育事業(延長保育事業)

事業の概要	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業		
本市事業名	延長保育事業	提供区域	行政区
対象者	2号認定子ども(保育利用)、3号認定子ども		
算出方法	根拠	国の「手引き」に基づいて算出	ニーズ調査(就学前) 問9、問8-2
	① 調査結果から、2号認定(保育利用)及び3号認定に該当する子どもの保護者のうち、施設等の利用終了時間について、18:00以降を希望する者の割合を算出。 ② R2～R6年度の推計児童数(0～5歳)に①の割合を乗じ、利用者数の見込みを算出。		

(利用者数:人)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	1,577	1,664	1,831	4,008	4,010	3,955	3,885	3,847
花見川区	911	991	1,132	2,788	2,765	2,692	2,623	2,584
稲毛区	1,049	1,074	1,190	2,840	2,802	2,763	2,704	2,637
若葉区	902	888	858	1,957	1,923	1,885	1,843	1,809
緑区	907	929	1,029	2,211	2,177	2,159	2,141	2,139
美浜区	1,153	1,259	1,343	2,328	2,275	2,256	2,208	2,144
全市	6,499	6,805	7,383	16,132	15,952	15,709	15,404	15,161

		量の見込み(補正案)				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
補正後	中央区	2,686	2,703	2,656	2,603	2,577
	花見川区	1,573	1,562	1,519	1,481	1,456
	稲毛区	1,582	1,550	1,530	1,499	1,463
	若葉区	1,231	1,203	1,180	1,156	1,135
	緑区	1,392	1,362	1,352	1,346	1,344
	美浜区	1,380	1,327	1,321	1,297	1,261
	全市	9,844	9,707	9,558	9,382	9,236

<補正の考え方>

○ 過去3か年(28～30年度)の利用実績から量の見込みを算出。

【算出式】 量の見込み = (2号認定(保育利用)の量の見込み + 3号認定の量の見込み) × 過去3か年の延長保育平均利用率

3-1. 一時預かり(幼稚園預かり保育:1号認定子どもによる不定期の利用)

事業の概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業		
本市事業名	—	提供区域	行政区
対象者	1号認定子ども		
算出方法	根拠	国の「手引き」に準じて算出 (調査項目が国のひな形と異なるため一部変更)	ニーズ調査(就学前) 問13、問14
	<p>① 調査結果から、1号認定に該当する子どもの保護者のうち、不定期預かり事業の利用を希望し、かつ、現に一時預かり又は幼稚園預かり保育を利用している者の割合を算出。</p> <p>② 調査結果から、幼稚園預かり保育利用者の年間平均利用日数を算出。</p> <p>③ R2～R6年度の推計児童数(3～5歳)に①及び②を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。</p>		

(年間延べ利用者数/人日)

	量の見込み				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	15,172	15,728	15,829	15,636	15,197
花見川区	14,386	14,690	14,403	13,883	13,614
稲毛区	8,679	8,545	8,406	8,167	7,990
若葉区	12,035	11,848	11,553	11,114	10,974
緑区	16,641	16,322	16,077	15,644	15,676
美浜区	10,311	9,758	9,577	9,246	9,125
全市	77,224	76,892	75,845	73,690	72,576

<備考>

○ 幼稚園の年間開園日数を195日(5日×39週)とした場合の1日当たり利用者数 … 約400人

3-2. 一時預かり(幼稚園預かり保育:2号認定子どもによる定期的な利用)

事業の概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業		
本市事業名	—	提供区域	行政区
事業対象者	2号認定子ども		
算出方法	根拠	国の「手引き」に基づいて算出	ニーズ調査(就学前) 問7~7-6、問9
	<p>① 調査結果から、2号認定(幼稚園利用)に該当する子どもの保護者の年間就労日数を算出。</p> <p>② R2~R6年度の推計児童数(3~5歳)に①を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。</p>		

(年間延べ利用者数:人日)

	量の見込み				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	123,697	128,226	129,051	127,474	123,900
花見川区	85,782	87,597	85,888	82,785	81,179
稲毛区	97,727	96,219	94,644	91,961	89,968
若葉区	70,184	69,098	67,376	64,814	63,997
緑区	79,201	77,685	76,515	74,454	74,610
美浜区	64,236	60,789	59,661	57,601	56,843
全市	520,827	519,612	513,134	499,089	490,497

3-3. 一時預かり(不定期利用分)

事業の概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業		
本市事業名	一時預かり	提供区域	行政区
対象者	小学校就学前までの子どもで、通常保育の対象でない者		
算出方法	根拠	国の「手引き」に準じて算出 (調査項目が国のひな形と異なるため一部変更)	ニーズ調査(就学前) 問13、問14
	① 調査結果から、不定期預かり事業の利用を希望している者の割合を算出。 ② 調査結果から、以下の3事業の年間平均利用日数を算出。(→11.7日) ア. 一時預かり / イ. ファミリーサポートセンター / ウ. トワイライトステイ ③ R2～R6年度の推計児童数(0～5歳)に①及び②を乗じ、上記3事業の年間延べ利用者数の見込みを算出。 ※「幼稚園預かり保育(3-1、3-2)」及び「ベビーシッター」等の見込みは差し引く。 ④ 調査結果から、現在の上記3事業全体の年間延べ利用日数に占める「一時預かり」の割合を算出して③に乘じ、「一時預かり」の年間延べ利用者数の見込みを算出。		

(年間延べ利用者数:人日)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度※	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	6,904	8,145	7,110	63,797	63,310	62,136	60,955	60,631
花見川区	1,008	849	1,682	28,415	27,783	26,945	26,394	26,063
稲毛区	2,607	2,002	2,907	31,680	31,271	30,848	30,240	29,470
若葉区	2,847	2,379	2,171	18,447	18,107	17,795	17,571	17,183
緑区	4,228	4,431	4,393	29,813	29,402	29,262	29,304	29,224
美浜区	2,937	2,407	2,547	27,752	27,420	27,284	26,819	25,894
全市	20,531	20,213	20,810	199,904	197,293	194,269	191,282	188,464

		量の見込み(補正案)				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
補正後	中央区	10,694	10,239	9,980	9,804	9,885
	花見川区	5,861	5,650	5,468	5,378	5,335
	稲毛区	5,898	5,913	5,823	5,723	5,561
	若葉区	3,231	3,208	3,150	3,119	3,045
	緑区	4,729	4,741	4,721	4,743	4,724
	美浜区	4,747	4,934	4,895	4,816	4,598
	全市	35,160	34,685	34,037	33,583	33,148

<補正の考え方>

- ①算出方法①から保育所等に在籍している児童数を除く。
- ②算出方法②～④は補正なし。
- ③次ページで算出した定期利用見込者が現に不定期利用を利用している日数について、定期利用分と不定期利用分の割合に応じて按分。

3-4. 一時預かり(定期利用分)

事業の概要	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業(就労に対応し、定期的に利用するもの)		
本市事業名	一時預かり(定期利用)	提供区域	行政区
対象者	32時間以上64時間未満/月の就労等により保育が必要な子ども		
算出方法	根拠	ニーズ調査に基づき、独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査(就学前) 問7-1、問8、問9
	<p>①調査結果より、週2～3日就労し、保育園等を利用していない者の割合を算出。</p> <p>②R2～R6年度の推計児童数(0～5歳)に①を乗じ、週2～3日就労し、保育園等を利用していない者の人数を算出。</p> <p>③②にそれぞれ年間利用日数を乗じ、年間延べ利用日数の見込みを算出。</p> <p>④算出した定期利用見込者が現に不定期利用を利用している日数について、定期利用分と不定期利用分の割合に応じて按分。</p>		

(年間延べ利用者数:人日)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度※	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	8,601	10,164	11,788	15,406	15,424	15,214	14,946	14,797
花見川区	1,416	1,620	1,701	11,202	11,114	10,819	10,540	10,384
稲毛区	4,959	4,553	5,347	11,235	11,083	10,927	10,693	10,432
若葉区	3,841	4,277	4,011	8,920	8,765	8,589	8,398	8,244
緑区	6,470	5,919	5,456	9,562	9,411	9,333	9,256	9,246
美浜区	5,629	4,931	5,378	9,000	8,788	8,715	8,529	8,283
全市	30,916	31,464	33,681	65,325	64,585	63,597	62,362	61,386

4. ファミリー・サポート・センター(子育て援助活動支援事業)

事業の概要		乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業		
本市事業名		ファミリー・サポート・センター	提供区域	全市
対象者		小学生までの子ども		
算出方法	根拠	未就学児	国の「手引き」に準じて算出 (調査項目が国のひな形と異なるため一部変更)	ニーズ調査(就学前) 問13、問14
		就学児	独自に算出 (任意で実施した小学生向け調査結果を使用)	ニーズ調査(小学生) 問9
	【就学前】 ① 「3-3. 一時預かり」の①～③と同じ手順で、「一時預かり」+「ファミリー・サポート・センター」+「トワイライトステイ」の年間延べ利用者数の見込みを算出。 ② 調査結果から、現在「ファミリー・サポート・センター」を利用していると回答した者の割合を算出して①に乘じ、「ファミリー・サポート・センター」の年間延べ利用者数の見込みを算出。			
	【就学児】 ① 調査結果から、希望する放課後の過ごし方として、「ファミリー・サポート・センター」を選択した者の割合を算出し、R2～R6年度の推計児童数(6～11歳)に乘じ、利用者数の見込みを算出。 ② 調査結果から、1週当たり平均利用希望日数を算出し、1年=51週として年間平均利用希望日数に換算。 ③ ①に②を乘じて、年間延べ利用者数の見込みを算出。			

(年間延べ利用者数:人日)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
未就学児	6,608	5,964	4,432	6,216	6,134	6,040	5,948	5,860
就学児	5,562	4,913	3,640	46,475	45,821	45,233	44,858	44,518
全市	12,170	10,877	8,072	52,691	51,955	51,273	50,806	50,378

		量の見込み(補正案)				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
補正後	未就学児	6,216	6,134	6,040	5,948	5,860
	就学児	7,224	7,124	7,033	6,973	6,921
	全市	13,440	13,258	13,073	12,921	12,781

<補正の考え方>

- 就学児について、ニーズ調査の結果により算出された利用事業量が、実際の活動件数と乖離していることから、当該乖離について、量の見込みを補正する必要がある。
- ニーズ調査上、H30年に利用された就学児童家庭の事業量(年間活動件数)=23,414件(A)
- H30年の実際の就学児童家庭の活動件数=3,640件(B) B/A(乖離)=15.5%
- 補正前の就学児童家庭の量の見込み×B/A

5. 病児保育事業

事業の概要	病児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等する事業		
	病児・病後児保育事業	提供区域	行政区
対象者	幼稚園・保育所等に通っている子ども及び低学年までの小学生		
算出方法	根拠	国の「手引き」に準じて算出	ニーズ調査(就学前) 問12~12-2
	<p>① 調査結果から、以下の合計が回答者数に占める割合を算出。 ア. 病気やケガで保育施設等を利用できず、父母のいずれかが仕事を休んだ者のうち、「できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設などに預けたかった」と回答した者 イ. 病気やケガで保育施設等を利用できなかったときに、病児・病後児保育を利用した者 ② 上記アの利用希望日数から、年間平均利用日数を算出(→6.22日) ③ R2~R6年度の推計児童数(0~5歳)のうち保育の必要性がある者の数に①及び②を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。 ※本事業の対象は小学校低学年までであるが、ここでは未就学児について算出。</p>		

(年間延べ利用者数:人日)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	1,826	1,712	1,627	7,685	7,689	7,583	7,449	7,377
花見川区	745	846	690	5,148	5,105	4,970	4,842	4,771
稲毛区	786	1,068	944	5,275	5,205	5,132	5,022	4,899
若葉区	532	812	800	4,296	4,222	4,137	4,046	3,971
緑区	1,287	1,306	1,409	4,480	4,410	4,374	4,338	4,334
美浜区	730	768	889	4,348	4,250	4,215	4,125	4,005
全市	5,906	6,512	6,359	31,232	30,881	30,410	29,823	29,357

		量の見込み(補正案)				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
補正後	中央区	3,443	3,444	3,397	3,337	3,305
	花見川区	2,306	2,287	2,226	2,169	2,137
	稲毛区	2,363	2,332	2,299	2,250	2,195
	若葉区	1,924	1,891	1,853	1,812	1,779
	緑区	2,007	1,976	1,959	1,944	1,941
	美浜区	1,948	1,904	1,888	1,848	1,794
	全市	13,991	13,834	13,622	13,360	13,151

<補正の考え方>

- 算出方法①について重複があるため除外する。また、ニーズ調査の結果により算出された年間利用日数が、実際の利用日数と乖離していることから、量の見込みを補正する。
- 算出方法①について、ア.「病気やケガで保育施設等を利用できず、父母のいずれかが仕事を休んだ者のうち、できれば病児・病後児を預かってくれる保育施設などに預けたかった」と回答した者のうちで、イ.「病気やケガで保育施設等を利用できなかったときに、病児・病後児保育を利用した」と回答した者がいたため、その部分を除外する。
- H30年に実際に利用されたはずの事業量=11,632人(α)、H30年の利用者実績=6,359人(β)
 β / α (乖離)=54.66%(A)
- 量の見込み=算出値×A

※親族等が見ることができるケースを除外していたが、そのままカウントすることとした。

6. 地域子育て支援拠点事業

事業の概要	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業		
本市事業名	子育て支援館、地域子育て支援センター、子育てリラックス館	提供区域	行政区
対象者	小学校就学前の子ども		
算出方法	根拠	国の「手引き」に準じて算出 (調査項目が国のひな形と異なるため一部変更)	ニーズ調査(就学前) 問16～16-2
	<p>① 調査結果から、以下の合計が回答者数に占める割合を算出。 ア. 地域子育て支援拠点事業を利用している者 イ. 地域子育て支援拠点事業を利用していないが、「今後は利用したい」と回答した者</p> <p>② 上記ア・イの利用希望日数及び利用日数から、1月当たり平均利用日数を算出し、12を乗じて年間平均利用日数に換算。</p> <p>③ R2～R6年度の推計児童数(0～2歳)に①及び②を乗じ、年間延べ利用者数の見込みを算出。 ※ 本事業の対象は小学校就学前の子どもであるが、国の手引に基づき、0～2歳児のみについて算出。</p>		

(年間延べ利用者数:人日)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	44,129	40,455	43,592	78,899	76,219	73,599	71,880	72,604
花見川区	11,269	9,055	9,570	27,332	26,293	25,394	25,032	24,785
稲毛区	14,891	14,549	13,154	33,939	33,563	33,175	32,716	31,815
若葉区	13,003	11,301	10,651	33,991	33,342	32,848	32,679	31,878
緑区	20,812	20,770	19,353	38,331	37,891	37,864	38,327	38,156
美浜区	16,161	16,062	13,599	27,369	27,729	27,805	27,604	26,351
全市	120,265	112,192	109,919	239,861	235,037	230,686	228,238	225,590

		量の見込み(補正案)				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
補正後	中央区	47,281	44,808	43,393	42,493	43,024
	花見川区	17,789	17,111	16,542	16,297	16,158
	稲毛区	21,292	21,336	21,009	20,647	20,015
	若葉区	19,964	19,747	19,416	19,266	18,803
	緑区	22,274	22,236	22,178	22,373	22,276
	美浜区	17,490	18,012	17,959	17,751	16,942
	全市	146,090	143,250	140,497	138,828	137,219

<補正の考え方>

- 3号認定子ども(保育所等利用児童)が実際に利用する可能性は極めて低いため、3号認定子ども分を量の見込みから控除する。(ただし、土曜の利用の可能性を考慮し、3号認定子ども分の1/6はニーズとして見込む。)…(A)

【算出式】量の見込み = 手引算出値 × A

7-1. 利用者支援事業(子育て支援コンシェルジュ)

事業の概要	子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業		
本市事業名	子育て支援コンシェルジュ	提供区域	行政区
対象者	子どもの保護者(主に就学前の子ども)		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査
	相談受付時間の延長及び地域子育て拠点施設への出張相談の実施回数増等、市民が十分にサービスを受けられるような体制に必要な人数を算出した。		

(配置数:人)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	1	1	2	2	2	2	2	2
花見川区	1	1	1	2	2	2	2	2
稲毛区	1	1	1	2	2	2	2	2
若葉区	1	1	1	2	2	2	2	2
緑区	1	1	1	2	2	2	2	2
美浜区	1	1	1	2	2	2	2	2
全市	6	6	7	12	12	12	12	12

7-2. 利用者支援事業(母子健康包括支援センター)

事業の概要	子育て支援担当部署と連携を図りながら、個々の妊産婦の不安や負担に寄り添った、きめ細やかな支援を実施し、安心して子育てができるように包括的な支援を行う拠点となる事業		
本市事業名	母子健康包括支援センター	提供区域	行政区
対象者	妊産婦並びに乳幼児及びその保護者		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査
	<p>①過年度(H28-30)の妊娠届出数と女性の推計人口(15-49歳)(9月末時点)から、市全体の妊娠届出数の割合を算出し、さらにH30年度の区ごと妊娠届出割合を用い、R2~6年度の区ごとの妊娠届出数見込みを算出</p> <p>②過年度の母子健康手帳別冊(転入者へ交付するもの)の交付数より、前年度からの減少ポイント数を算出。H27~H30年度の平均減少ポイント(2.6ポイント)を用い、H30年度の各区母子健康手帳別冊交付実績に減少ポイントを乗じ、R2~R6の母子健康手帳別冊交付推計値を算出。</p> <p>③母子健康包括支援センターの相談の中心は、妊娠届出時の全数面接と、転入者への全数面接であることから、①と②を足した数を相談者の見込みとした。</p>		

(面接件数:人)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	-	2,126	2,009	2,002	1,965	1,928	1,886	1,848
花見川区	-	1,423	1,395	1,387	1,361	1,335	1,305	1,279
稲毛区	-	1,318	1,227	1,223	1,200	1,177	1,151	1,128
若葉区	-	1,047	1,025	1,021	1,002	983	962	943
緑区	-	1,152	1,150	1,142	1,120	1,099	1,075	1,053
美浜区	-	1,051	941	935	917	899	879	861
全市	0	8,117	7,747	7,710	7,565	7,421	7,258	7,112

8-1. ショートステイ(子育て短期支援事業)

事業の概要	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業		
本市事業名	ショートステイ	提供区域	全市
対象者	18歳未満の子ども		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引による算出方法では有意な結果が得られない)	ニーズ調査(就学前) —
	過年度の実績と利用希望者のうちで利用できなかった者の人数を勘案して算出。		

(年間延べ利用者数:人日)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全市 (11歳まで)	474	536	493	1,116	1,102	1,086	1,071	1,059

8-2. トワイライトステイ(子育て短期支援事業)

事業の概要	保護者の夜間・休日就労等の理由により家庭において養育を受けることが困難な児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業		
本市事業名	トワイライトステイ	提供区域	全市
対象者	2歳以上18歳未満の子ども		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引による算出方法では有意な結果が得られない)	ニーズ調査(就学前) —
	過年度の実績と利用希望者のうちで利用できなかった者の人数を勘案して算出。		

(年間延べ利用者数:人日)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全市 (11歳まで)	716	447	595	677	668	659	650	643

9. 乳児家庭全戸訪問事業

事業の概要	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業		
本市事業名	乳児家庭全戸訪問事業	提供区域	行政区
対象者	生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査
	<p>①H28～H29年度の出生数に対する乳児家庭全戸訪問の訪問実績の平均割合(91.3%)を算出する。□</p> <p>②R2～R6年度の0歳児推計人口を対象者数とし、訪問実績の平均割合を乗じた数とした。□</p> <p>③現状では、長期里帰り者の増加や、海外在住者、仕事により不在の者が一定数存在するため、これ以上訪問割合が増えることは難しいと考え、割合はH28年度以降高止まりと推測した。</p>		

(訪問件数:人)

	過年度実績			量の見込み(暫定値)				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	1,458	1,545	1,514	1,589	1,452	1,442	1,439	1,459
花見川区	1,164	1,110	1,022	1,077	1,035	1,009	989	991
稲毛区	1,056	956	903	1,034	1,085	1,060	1,036	1,005
若葉区	946	861	856	816	849	825	806	789
緑区	1,014	935	875	855	900	889	881	878
美浜区	788	775	732	785	899	865	831	792
全市	6,426	6,182	5,902	6,156	6,220	6,090	5,982	5,914

10. 養育支援訪問事業

事業の概要	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業		
本市事業名	養育支援訪問事業	提供区域	行政区
対象者	養育支援が特に必要な家庭(妊産婦を含む)		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	ニーズ調査
	<p>【妊産婦】</p> <p>① 過年度(H28-30)の妊娠届出数と女性の推計人口(15-49歳)(9月末時点)から、市全体の妊娠届出数の割合を算出し、さらにH30年度の区ごと妊娠届出割合を用い、R2~6年度の区ごとの妊娠届出数見込みを算出</p> <p>② 過年度(H28-30)の妊産婦訪問実績から、妊娠届出数に占める訪問件数の割合を算出(5.87%)</p> <p>③ ①に②を乗じて、訪問件数の見込みを算出□</p> <p>【妊産婦以外の訪問件数】</p> <p>① 過年度の妊産婦以外の訪問実績から、0~17歳までの人口に占める訪問件数の割合を算出(0.83%)</p> <p>② R2~6年度の推計人口(0~17歳)に①を乗じ、訪問件数の見込みを算出。□</p>		

(訪問件数:人)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
中央区	420	366	360	349	347	345	343	341
花見川区	357	270	238	263	258	254	249	244
稲毛区	350	330	323	262	260	256	252	248
若葉区	284	261	263	217	213	208	204	201
緑区	145	118	73	242	238	234	231	228
美浜区	323	221	244	230	226	221	216	211
全市	1,879	1,566	1,501	1,563	1,542	1,519	1,496	1,472

※0~18歳未満と妊産婦の訪問対象件数の合計。

11. 妊婦健康診査

事業の概要	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業		
本市事業名	妊婦健診	提供区域	全市
対象者	全ての妊婦		
算出方法	根拠	独自に算出 (手引に算出方法の記載なし)	二一ズ調査
	<p>①過年度(H28-30)の妊娠届出数と女性の推計人口(15-49歳)(9月末時点)から、妊娠届出数の割合を算出し、R2-6年度の妊娠届出数見込みを計上</p> <p>②過年度の実績から、妊婦1人当たりの健診回数を算出。⇒11回/人と想定し、受診回数を計上。</p>		

(対象者数:人)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全市	7,301	7,067	6,706	6,722	6,604	6,485	6,346	6,223

(延べ受診回数:回)

	過年度実績			量の見込み				
	28年度	29年度	30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
全市	83,866	83,083	78,877	73,942	72,642	71,332	69,804	68,449